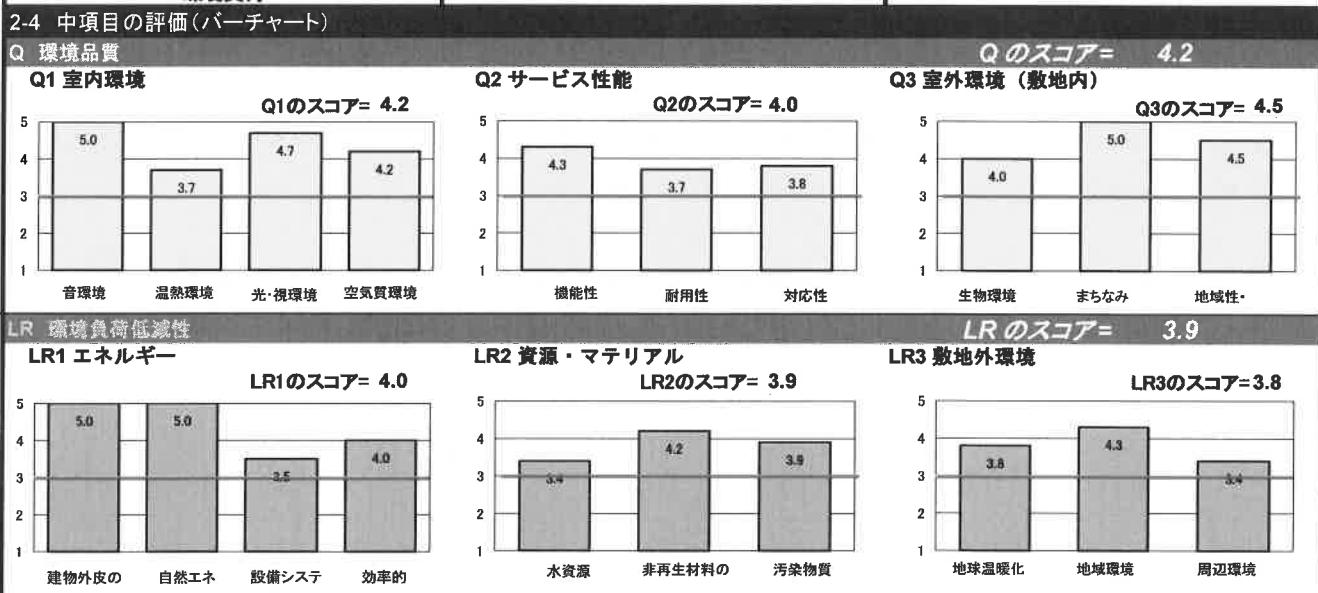
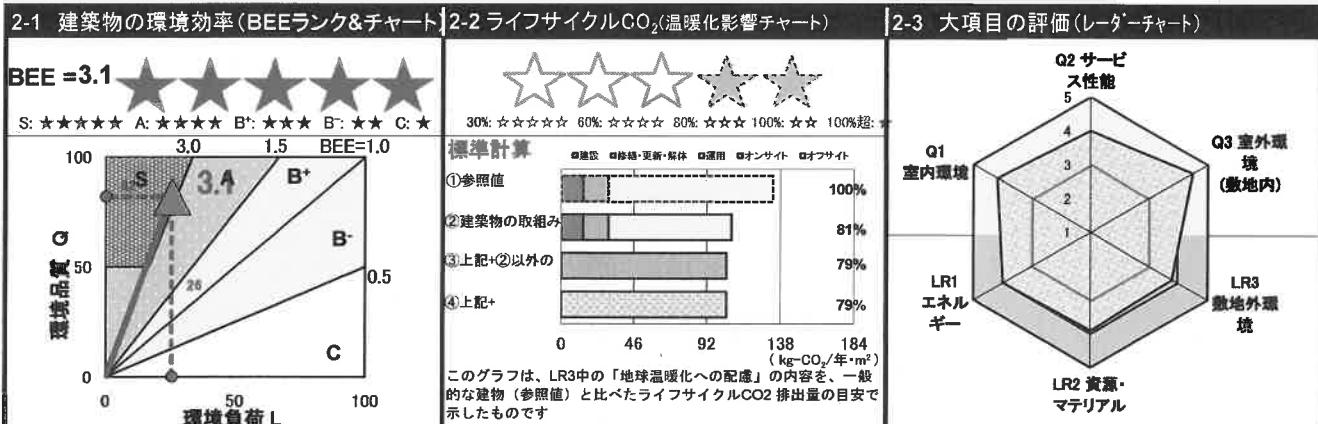


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	島津製作所けいはんな新研究棟(仮)	階数	地上3階、地下1階	
建設地	京都府相楽郡精華町光台3丁目9番	構造	S造	
用途地域	準工業地域、市街化区域、法22条区	平均居住人員	320 人	
地域区分	5地域	年間使用時間	2,160 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所、	評価の段階	基本設計段階評価	
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年6月5日	
敷地面積	14,685 m ²	作成者	重石真緒	
建築面積	6,536 m ²	確認日	2019年6月5日	
延床面積	14,659 m ²	確認者	東井嘉信	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
本計画は京都府に建設される研究棟の新築計画である。周辺環境に配慮した室内環境の確保や維持管理機能を確保し、施設のサービス性能向上に配慮している。また、高い断熱性能や高効率な設備機器の採用など、省エネルギー性能に配慮した施設計画を行っている。		・特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・建物中央に光庭から繋がるトップライトを採用 ・全面的に規制対象外又はF★★★★の材料を使用	・建物コンセプトを反映した内装計画を実施 ・維持管理に配慮した仕上材、施設機能の確保	・周辺のまちなみのスケールに配慮した高さや立面計画を実施 ・敷地外周部の緑化や屋上緑化により温熱環境の向上に配慮
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・断熱性能に配慮した外皮計画を実施 ・高効率な設備機器を採用	・節水器具を全体の過半に採用 ・非鉄系材料へのリサイクル材の採用を実施	・光害に配慮した屋外照明や広告物照明を採用

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される